

# CBT方式により、年間を通して試験を実施しています。

CBT方式とは、パソコンを利用して実施する試験のことで、受験者は試験会場にて、パソコンに表示された試験問題に解答する方式です。

## いつでも、どこでも、受験ができる！

- 自分の都合に合わせて、試験日時や試験会場を選択できます。
- 全国各地の試験会場で受験できます。

## 結果がすぐにわかる！

- 試験結果が、その場ですぐにわかります。
- 自分のアカウントページから試験結果を確認することもできます。

## 受験の流れ

受験日を自分で設定できるから、好きなタイミングで受験することができます。



## 受験手数料の一括払い

### パウチャーチケットのご利用が便利です！

企業・学校等で、受験手数料を一括支払いできる「パウチャーチケット」をご購入いただくと、担当者向けの「成績情報提供サービス」がご利用になります。

- **01** 社員・学生(受験者)の成績情報を管理
- **02** 成績情報(テキストデータ)により、社内の効果測定等に活用
- **03** 銀行振込による一括支払いが可能
- **04** 少人数での申込み・支払いにも対応(1枚から購入可能)

ご提供する成績情報 チケット番号、チケット使用日、受験番号、氏名、受験日、評価点、合格証書番号 等

## 【参考】試験区分一覧

ITを活用する者	国家試験	国家資格
ITの安全な活用を推進する者	<p>高度な知識・技能</p> <p>情報処理技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITストラテジスト試験 (ST)</li> <li>システムアーキテクト試験 (SA)</li> <li>プロジェクトマネージャ試験 (PM)</li> <li>ネットワークスペシャリスト試験 (NW)</li> <li>データベーススペシャリスト試験 (DB)</li> <li>エンベデッドシステムスペシャリスト試験 (ES)</li> <li>ITサービスマネージャ試験 (SM)</li> <li>システム監査技術者試験 (AU)</li> <li>情報処理安全確保支援士試験 (SC)</li> </ul>	<p>サイバーセキュリティを推進する人材</p> <p>情報処理安全確保支援士(登録セキュリティ)</p>
基本的知識・技能	<p>応用的知識・技能</p> <p>応用情報技術者試験 (AP)</p>	
全ての社会人	<p>基礎的知識・技能</p> <p>基本情報技術者試験 (FE)</p>	
共通の知識	<p>ITパスポート試験 (IP)</p>	

## 受験手数料

7,500円

※情報処理技術者試験は消費税込み。  
情報処理安全確保支援士試験は非課税。

### ITパスポート試験に関するお問い合わせ先

ITパスポート試験 コールセンター  
**TEL 03-6631-0608** (8:00~19:00 ※年末年始等の休業日を除く)  
**E-mail call-center@cbt.jitec.ipa.go.jp** (特定電子メールは送信しないでください。)

### 基本情報技術者試験に関するお問い合わせ先

情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験  
 受験サポートセンター(専用窓口)  
**TEL 03-4500-7862** (8:30~17:30 ※年末年始を除く)  
**お問い合わせフォーム** <https://hw.cbt-s.info/inquiry/user/inquiry/8>  
 (委託先事業者のWebサイトです)  
※基本情報技術者試験の申込受付業務は株式会社シー・ピー・ティソリューションズに委託しています。



# ITパスポート試験 基本情報技術者試験

デジタルを活用する  
すべての社会人に役立つ  
国家試験

CBT方式で  
随時受験  
可能



# ITパスポート試験



iパスは、IT化が進んだ現代社会で活躍するためのパスポートとして、  
**すべての社会人に役立つ国家試験です。**

## ITパスポート試験(iパス)の特徴

iパスは、ITを活用するすべての社会人、これから社会人となる学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。

具体的には、新しい技術(AI、ビッグデータ、IoTなど)や新しい手法(アジャイルなど)の概要に関する知識をはじめ、経営全般(経営戦略、マーケティング、財務、法務など)の知識、IT(セキュリティ、ネットワークなど)の知識、プロジェクトマネジメントの知識など幅広い分野の総合的知識を問う試験です。

### 試験時間・出題形式

試験時間	120分	出題形式	多肢選択式(四肢択一)
出題数/解答数	100問/100問		
	■ 分野別評価の出題数	経営全般(ストラテジ系) 35問程度 IT管理(マネジメント系) 20問程度 IT技術(テクノロジー系) 45問程度	
合格基準	<b>総合評価点、分野別評価点のすべてが次の基準を満たすこと</b>		
	■ 総合評価点	600点以上/1,000点(総合評価点の満点)	
	■ 分野別評価点	経営全般(ストラテジ系) 300点以上/1,000点(分野別評価点の満点) IT管理(マネジメント系) 300点以上/1,000点(分野別評価点の満点) IT技術(テクノロジー系) 300点以上/1,000点(分野別評価点の満点)	

**ITパスポート試験Webサイトでは、受験申込方法だけでなく、  
iパスを活用する「企業の声」や「活用事例」を公開しています!**

詳しくはITパスポート試験Webサイトをご確認ください。

▶ <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

iパス



# 基本情報技術者試験

高度なIT人材を目指すには、基礎力が不可欠。

**基礎を習得することで、応用力の幅が広がります!**

## 基本情報技術者試験の特徴

ITを活用したサービス、製品、システム及びソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識や技能、実践的な活用能力を問う国家試験です。プログラミングやコンピュータサイエンスを基礎から体系的に習得し、論理的思考力を養うことができます。また、情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどITに関する知識を幅広く習得することで、システム開発、IT基盤構築などの局面で役立つ力を身に付けることができます。「ITエンジニアの登竜門」とも呼ばれており、基本情報技術者試験をクリアすることは、ITエンジニアとして企業で働くための第一歩といえます。

### ポイント

科目A試験では、IPAに認定された講座を受講し、修了試験に合格することで科目A試験を1年間免除できる制度があります。詳しくはIPAのWebページをご確認ください。



<https://www.ipa.go.jp/shiken/about/menjo-fe.html>

科目B試験では、「情報セキュリティ」と「アルゴリズムとプログラミング(擬似言語)」の二つの分野を中心に出题します。また、擬似言語による出題では、データ構造やアルゴリズムなどのプログラミングに必要な不可欠な要素を問う問題だけでなく、数理・データサイエンス・AIなどの分野へのプログラミングの適用を題材とした問題も出題します。

### 試験時間・出題形式

科目名	科目A	科目B
試験時間	90分	100分
出題形式	多肢選択式(四肢択一)	多肢選択式
出題数/解答数	60問/60問	20問*/20問
合格基準	各科目の評価点が全て基準点以上の場合に合格	
	科目評価点 600点以上/1,000点満点	科目評価点 600点以上/1,000点満点

科目A試験と科目B試験は同日で実施します。なお、科目A試験終了後、科目B試験を開始するまでの間に、最長で10分の休憩を取ることができます。  
※情報セキュリティ分野から4問、アルゴリズムとプログラミング分野から16問が出題されます。

**基本情報技術者試験 受験申込みはこちら**

受験申込みページ <https://cbit-s.com/examinee/examination/fe>

(申込受付業務を委託する株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズのWebサイトです。)

